

スペイン

Kingdom of Spain | スペイン王国

実施時期 || 2026年3月～5月 費用 || 約66万円 上限人数 || 8名

応募条件 || 特になし

スペインはイベリア半島の80%を占め、北はピレネー山脈を境にフランスと、西はポルトガルと接し、南はジブラルタル海峡越しにアフリカが見えます。グラナダはスペインの南、アンダルシア地方に位置する人口約25万人の都市で、うち約5万人(20%)が大学生です。学生の町なので物価は概して安く、治安はスペイン国内の他都市と比較すると、とてもよいと言えます。市中にはスペイン屈指の世界遺産であるアルハンブラ宮殿があります。11世紀のレコンキスタ(キリスト教による国土回復運動)の際、イスラム勢力の最後の砦となった場所です。



学生・教員の声

グラナダの人口のうち約5分の1が大学の学生という「学生の町」であり、Bar(バル/飲食店)で飲み物を注文したらTapas(タパス/小皿料理)が無料サービスで付いてきます。飲み物を注文するだけでお腹がいっぱいになるこのサービスは、スペイン全土の中でも珍しいようです。また、グラナダでは「グラナダの日本」という日本文化紹介のイベントが毎年開催されており、日本のサブカルチャーを中心に、様々な文化的交流があります。このように魅力たっぷりのグラナダで、充実した留学生活を送ってください。

プログラム概要

期間 | 2026年3月～5月

語学研修

初日にプレイスメントテストがあり、初学者から国家資格レベルまでスペイン語力別にクラスが編成されます。セビージャ・トレドなどへの泊りがけのトリップや、コルドバなどへの日帰りのトリップ、市内散策、スポーツアクティビティなどが語学学校の教員の案内付で行なわれています。

[日程/時間割]

- 語学研修は8週間
- 週5日(月～金)の1日4時間の計160時間の授業時間
- 期間中3回のフィールドトリップ(グラナダの歴史・文化の見学ツアーなど)やスポーツ・アクティビティなどを予定

クラスは最大でも15名。

80%はアメリカ合衆国からの学生でアジアからの留学生は多くありません。



フィールドワーク

スペインの都市の特徴や文化、社会のことを読み解くには、歴史的な知識が不可欠です。入り乱れる民族、宗教、大きく書き換えられてきた文化。岩根囃和(著)『物語 スペインの歴史 海洋帝国の黄金時代』中公新書(2002)を読むと、スペインの歴史をざっくりと捉えることができます。また、スペインの多様性を知りつつ自分の関心事を見定めていくには、坂東省次(著)『現代スペインを知るための60章』明石書店(2013)なども参考になります。

【フィールド調査テーマ例】

- イスラム文化とキリスト教文化の共存について
[訪問先:アルハンブラ宮殿 など]
- スペインの食文化について [訪問先:町なかのバル、郊外の畑 など]
- 多様な建築様式と多様な歴史・文化について
[訪問先:アルバイシン、大聖堂 など]
- 伝統工芸の技と紋様——グラナダ陶器、寄せ木細工など
[訪問先:寄せ木細工工房 など]
- スペインの多様性とカタルーニャの独立運動について
[訪問先:バルセロナ など]



現地受入機関 | グラナダ大学現代言語センター

グラナダ大学現代言語センターは、グラナダ市の歴史的な中心部にある美しい16世紀の宮殿に位置しています。最新の設備を備え、外国人にスペイン語を教えることに特化した最も権威のあるセンターのひとつです。現代言語センターでは、習熟レベル別に少人数制でアットホームな授業が行われています。語学学校からホームステイ先の紹介があり、安心してホームステイができます。また、留学生のための24時間対応サポートデスクもあります。

現地受入機関	グラナダ大学現代言語センター University of Granada, Modern Language Center		
所在地	Placeta del Hospicio Viejo s/n 18009 Granada (España)		
URL	https://clm-granada.com/		
宿泊情報	語学研修期間中はホームステイ		
ビザ	3か月以内は不要(日本国籍の場合)		
予防接種	なし		

[FW費用概算] 2025年度実績			
渡航費	約23万円	宿泊費※	約37万円
海外旅行保険料	約6万円		
概算費用	約66万円		

※ 宿泊費は語学研修8週間のホームステイ費用で食事(朝、昼、夕)と週1回の洗濯代を含む
※ 語学研修後のフィールド調査時の宿泊先は各自手配